

公民館主催こども講座～職業体験講座～

「おおきくなったらなんになるのかな？」

令和2年度9月、11月、1月の3回シリーズで開催予定です！

色々な職業があることを知り、体験を通して知識や技術にふれ、自己の将来に夢や希望をもつ。また、地域との連携、協力関係のもと生きた学びの場をもつことを目的に開催します。

それぞれの職種の講師に、仕事内容の話、実演、質疑応答を交えた講座です。

【申込方法】こども園や学校などへ配布したチラシを直接中央公民館へ提出。電話や学校でのお申込みはできません。定員をオーバーした場合は抽選となります。

【対象】

町内5歳児～中学3年生

※講座内容によって、対象が変更されるものもあります。

※新型コロナウイルスの関係で予定が変更になる可能性があります。



お花屋さん



パン屋さん



消防士さん

※写真は令和元年度の講座の様子です。



久留島武彦記念館だより

問 久留島武彦記念館
☎(73) 9200
kurushima@town.kusu.oita.jp

第12回企画展 小波生誕150年特別企画

『巖谷小波 おとぎの世界展』 開催！

開催期間：9月9日(水)～12月27日(日)

小波のお伽俳画、書籍、新聞記事、口演童話活動紹介、小波作詞の童謡など、貴重な品々を展示します。

○臨時休館のお知らせ

9月1日(火)～9月8日(火)は、展示替えのため臨時休館します。



花咲翁



桃太郎



文福茶釜

十種類の日本昔噺を描いた小波のお伽俳画二十一点を日本初公開

久留島武彦の師匠として知られる巖谷小波(いわや・さざなみ)(1870～1933)は、明治から昭和にかけて活動した児童文学者であり、俳人です。明治期に児童文学作品を表す言葉として「お伽噺」を使用し、自ら編集長を務めた『少年世界』などの雑誌を通して日本中に児童文学を広めました。『日本昔噺』(24編)、『日本お伽噺』(24編)、『世界お伽噺』(100編)などのシリーズを刊行、『桃太郎』『金太郎』『浦島太郎』などの民話や英雄譚の多くは小波の手によって再生され、幼い読者の手に届きました。また、自ら開拓したお伽噺の世界を俳画の世界に融合させ、「お伽俳画」という独創的な世界を創り上げました。今回の特別企画展では、小波の描いた「お伽俳画」作品21点など、貴重な品々を展示します。